



平成 19 年 4 月 27 日

各 位

会社名 池上通信機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 松原正樹
 (コード番号 6771 東証第1部)
 問合せ先 取締役 橋本陽一郎
 (TEL . 03 - 5700 - 1113)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 17 日の中間決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期の個別業績予想及び平成 19 年 2 月 2 日の第 3 四半期決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	34,000	300	200
今回修正予想 (B)	31,200	240	290
増減額 (B - A)	2,800	540	490
増減率 (%)	8.2		
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	33,615	337	378

2. 平成 19 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	37,000	400	300
今回修正予想 (B)	34,600	65	130
増減額 (B - A)	2,400	465	430
増減率 (%)	6.5		
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	37,231	132	199

3. 修正の理由

売上高につきましては、放送関連機器は概ね堅調に推移しました。一方、セキュリティカメラシステム、医用カメラシステムおよび外観検査装置は予想に比べ減少し、特にパーラー（パチンコ）市場（セキュリティカメラシステム）が大幅に落ち込みました。その結果、個別売上高は 312 億円、連結売上高は 346 億円となる見込みです。損益につきましては、売上高の大幅な減少により固定費が吸収出来ず、個別経常損失 2 億 40 百万円、連結経常損失 65 百万円、個別当期純損失 2 億 90 百万円、連結当期純損失 1 億 30 百万円となる見込みです。

以上